

園名：すぎなみのぞみ保育園

活動日時：7月3日(木) 10:00～

## 1. 活動テーマ

<テーマ>

クラスで育てている野菜とヤゴを  
皆で観察してみよう🔍

<テーマ設定理由>

4歳児りんごぐみで育てている小松菜を成長観察できるようにと日々タイムラプスカメラで観察してみたこと、5歳児クラスぶどうぐみで飼っているヤゴが脱皮したことが偶然にも重なったため様々な道具を使って観察してみることにした。

## 2. 活動スケジュール

5歳児 8名、4歳児5名

- ・小松菜を再生栽培し、タイムラプスカメラで撮影
- ・飼育中のヤゴが脱皮したため、抜け殻などを観察。

## 3. 活動の為に準備した素材や道具、環境の設定

【道具】ルーペ、電子顕微鏡、タイムラプスカメラ、プロジェクター

【設定】様々な道具を使って、目視だけでは見られない部分もみて、発見出来るようにした。

## 4. 探究活動の実践

<活動内容>

4歳児クラスでは、6月ごろから小松菜の根を使って再生栽培に取り組む。少しずつ根や葉が増えてくる為、タイムラプスカメラを定点で置き、撮影をしていった。7月に入ると、根や葉が大きくなり成長が分かりやすくなってきていた。そこからカメラの映像を全体で見られるようにとプロジェクターに繋ぎ、全員での鑑賞会を行う。

5歳児クラスでは、6月頭に近隣の小学校からもらったヤゴの飼育を開始。飼育していたヤゴが脱皮した。脱皮したヤゴ、そして抜け殻の観察にルーペや電子顕微鏡を使って細部を見てみた。

まず、4歳児の小松菜の成長観察の映像をプロジェクターで流すと、『なにかでてきてる！』『葉っぱが大きくなってきたね！』と変化を見つけて声が上がった。タイムラプスカメラのため、映像の切り替わりがわかりやすく成長の観察を子どもと保育士と一緒に観察しやすかった。



その後は、5歳児のヤゴの脱皮について観察を行う。脱皮したヤゴは茶色から黄緑に色が変わっていたため、ルーペを使ってひとりずつ観察し、絵を描いてみる。

体が透けてる  
ところがある  
よ！



観察すると、体が透けていることに気が付き、餌を食べると赤虫が透けて見えることにも喜んでいました。

その後、抜け殻を電子顕微鏡で観察すると羽の部分の模様を拡大して見る事が出来ていた。

目では見えない部分を様々な道具を使って観察し新たな発見を楽しんだ。

## 5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

今回、2クラスそれぞれ観察したいものが重なったため、園にある様々な道具を使って観察することが出来た。ルーペなどの道具の使い方を知ることで今後の活動でも取り入れやすいと感じた。

また、目では見えない部分を見ることで新たな観点での観察や発見に繋がる事が分かったため、今後も子どもたちが自然に興味を持てるように活動を進めていきたい。